

経営比較分析表（令和元年度決算）

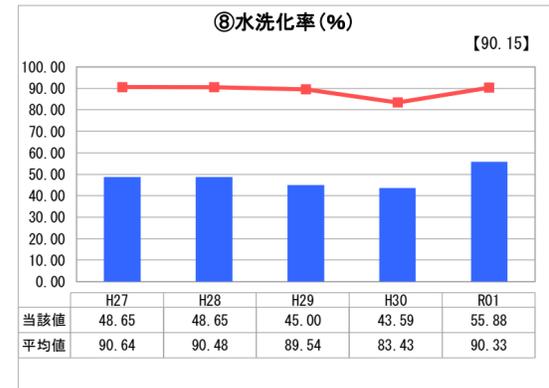
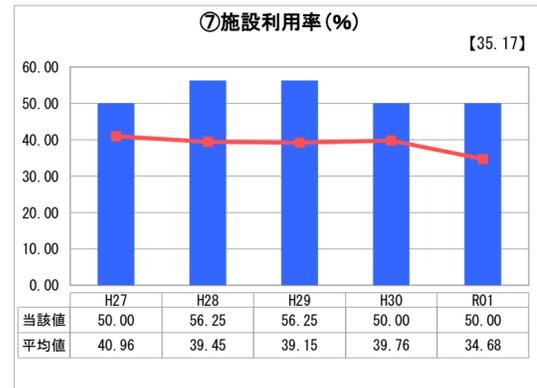
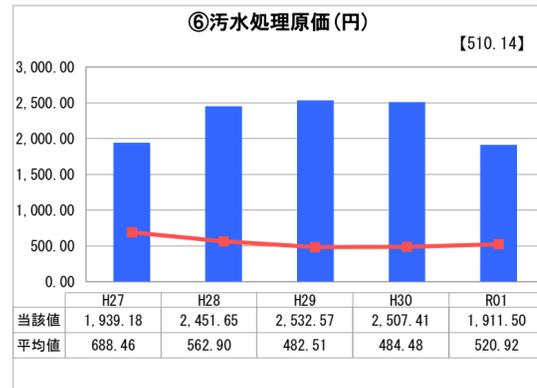
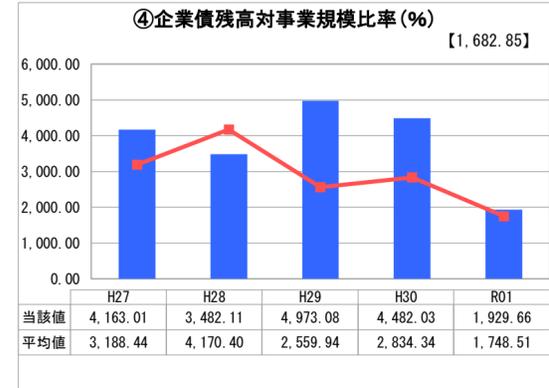
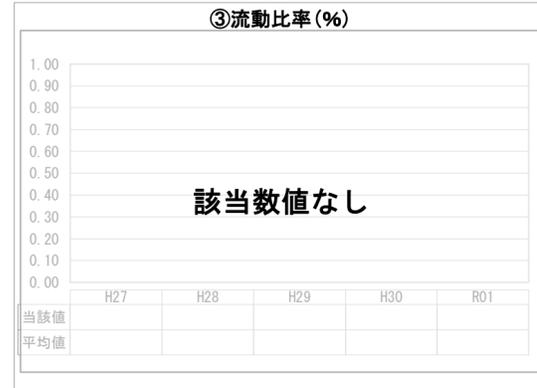
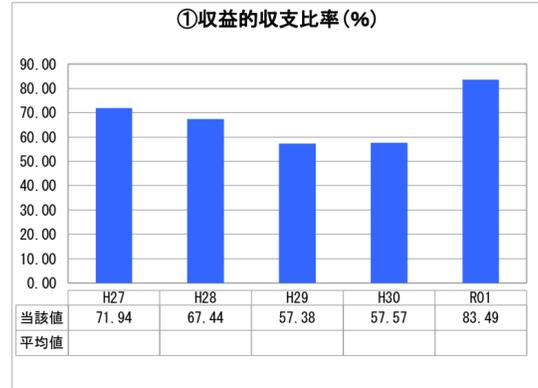
兵庫県 宍粟市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	小規模集合排水処理	I2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.09	59.98	2,750

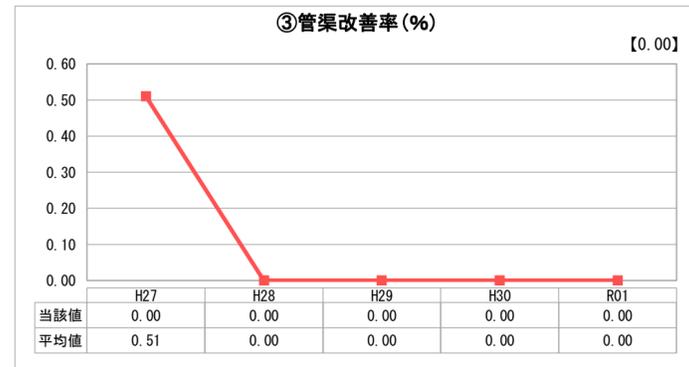
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
37,331	658.54	56.69
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
34	0.02	1,700.00

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率は、他会計繰入金の増加により前年度25.92ポイントの増となった。

④企業債残高対事業規模比率については、類似団体の平均値と比べて高い傾向となっている。これは企業債償還の財源を他会計からの繰入金で賄う割合が大きくなったためと考える。

⑤経費回収率は、使用料収入に比べて、汚水処理費用が大きいため、類似団体の平均値と比べて非常に低い状況となっている。収入の不足分については、他会計からの繰入金で賄っている状況であり、分析を踏まえて、今後、使用料体系、運営体制のあり方や投資のあり方を見直し、健全運営につなげる必要がある。

⑥汚水処理原価については、類似団体の平均値と比べて高い数値である。今後は施設の統廃合等により、汚水の維持管理費の縮減に努める必要がある。

⑧水洗化率は類似団体の平均値と比較して著しく低いため、より一層、水洗化へのPRが必要である。

2. 老朽化の状況について

③処理施設等は供用開始後10年以上経過しており、今後各施設の老朽化が進行するにつれ、修繕料の増加が見込まれる。

全体総括

経営収支比率、経費回収率は、類似団体の平均値と比べて低く、他会計からの繰入金への依存を抑制するため、健全な経営化に向けて、経営体制のあり方や施設の統廃合を含めた今後の投資のあり方、適切な使用料体系、汚水処理費の削減、水洗化率の向上等の見直しが必要である。また、令和2年度から地方公営企業法の財務規定適用により、財務状況及び経営状況の透明化・明確化を図り、計画的で合理的な事業運営を図る必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。